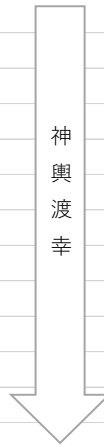


令和2年度放生津八幡宮 秋季例大祭関連日程

	9月22日 (火)	9月26日 (土)	9月28日 (月)	9月30日 (水)	10月1日 (木)	10月2日 (金)	10月3日 (土)
				霊迎式	神輿渡幸祭	秋季例大祭・放生会式・築山祭	報賽祭
4:00						参集	
5:00					関係者参集・清掃	清掃・築山準備	
5:30					神輿準備		
6:00					祭礼準備作業		
6:30					祭礼・曳山飾り付け		
7:00						築山祭・姥神入魂式	
7:30	安全祈願祭						
8:00	作業開始：寄り合わせ				神輿（御舟代）渡幸祭		
8:30					出御の儀		
9:00					大御舟代・小御舟代巡行		
9:30						祭員整列	
10:00	しめ縄掛け替え作業		神輿車輪修復竣工式			秋季例大祭式・放生会式	報賽祭
10:30							
11:00						(放生会：放鳥:拝殿にて)	
11:30	しめ縄入魂・清祓式					(放生会：魚放流：内川にて)	
12:00							
12:30							
13:00							
13:30							
14:00							
14:30							
15:00							
15:30							
16:00							
16:30						小御舟代御（おおよその時刻）	
17:00				霊迎式・前夜祭	大御舟代御（おおよその時刻）		
17:30							
18:00		曳山13町大神神籬奉斎式（本年のみ）		各町曳山山宿 山神入魂式			
18:30				東町・荒屋町・古新町			
19:00				四十物町・法土寺町・三日曾根町			
19:30				中町・紺屋町・立町・新町			
20:00				奈呉町・南立町・長徳寺			
20:30				(おおよその時刻)			
曳山				山町13町内の入魂清祓式は通常通り斎行	感染症対策として、曳山の巡行は実施しませんが、各町山宿にて朝から夜にかけて展示いたします。		
区分					曳山行事：富山県指定無形民俗文化財	築山行事：富山県指定無形民俗文化財	



令和2年 放生津八幡宮神輿渡幸祭
御舟代渡幸ルート

青色 : 大 南回り
オレンジ : 小 北廻り

「←」 : 主な巡行ルート
* 詳細は当日の各町内総代案内による
「---」 : 帰路



10月1日放生津八幡宮神輿・御舟代渡幸祭

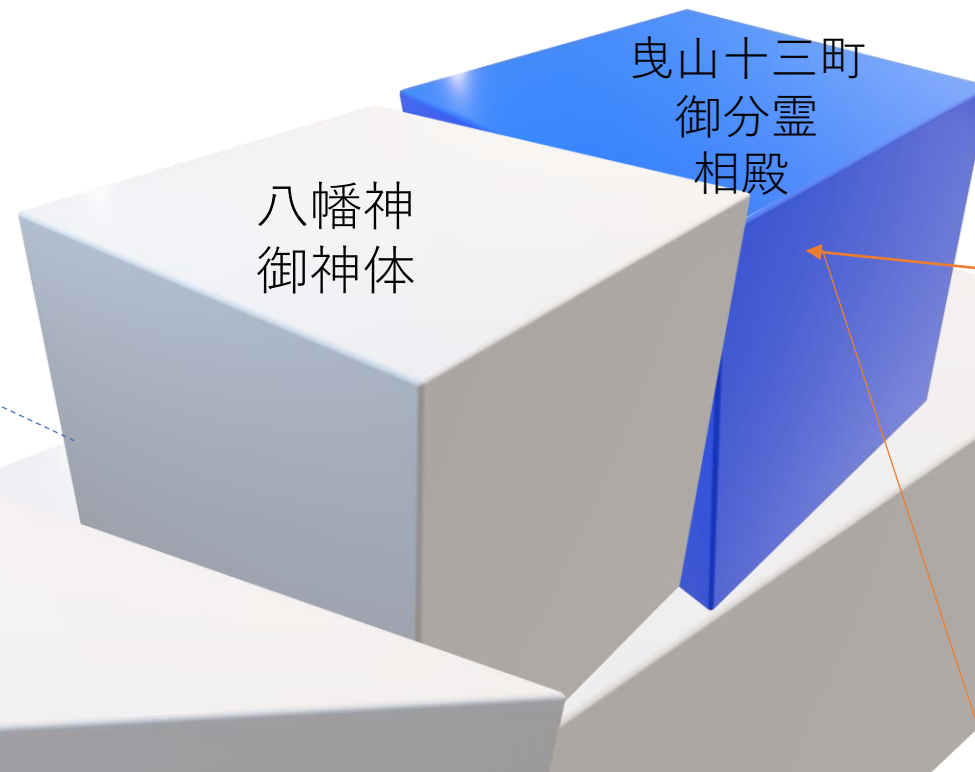
大神輿（御舟代）		出御の儀	小神輿（御舟代）	
予定時刻	町名		予定時刻	町名
八幡宮前				
		祝言・出立（小）	8:30	
8:40		祝言・出立（大）	8:40	東町東部
8:50	二の丸町	祝言	8:45	蔵屋敷
9:20	二の丸本町	祝言	9:00	東町西部
9:40	江柱1区	祝言	9:20	四十物町
10:00	江柱2区	祝言	9:40	山王町
10:30	江柱3区	祝言	9:45	中町
10:50	立町	祝言	10:00	奈呉町
11:05	法土寺町	祝言	10:15	古新町東部
11:20	南立町	祝言	10:30	古新町中部
11:35	菊屋町	祝言	10:50	古新町西部
11:40	西立町	祝言	11:10	北長徳寺
11:45	獅子絵田	祝言	11:30	庄東
12:10	四日曾根	祝言	11:50	南長徳寺
13:30頃		クロスベイ新湊	13:30頃	
		祝言・出立		
13:50	三日曾根町	祝言	14:00	天神町
14:20	西新町	祝言	14:15	東町東部
14:40	桜町	祝言	14:30	荒屋本町
15:00	緑町	祝言	14:50	神保寺町
15:30	東新町	祝言	15:20	荒屋東部
15:50	紺屋町	祝言	15:40	越ノ潟
		祝言	16:20	荒屋東部
		祝言	16:30	東町東部
帰路～放生津八幡宮				
16:15頃	還御	祝言	16:40頃	還御
還御の儀		拝殿にて	還御の儀	



御駐輦

令和2年 放生津八幡宮 10月1日神輿渡幸祭
御神体及び曳山大神様相殿について

放生津八幡宮
令和2年9月吉日



八幡神
御神体

曳山十三町
御分霊
相殿

本来ならば曳山十三本が神輿に供奉するところですが、本年は感染症対策として、曳山は各倉庫にて展示。当日巡行する御舟代の相殿に曳山十三町の大神様をおうつし致します。



【事前の行事（本年のみ）】
9月26日（18時から）：
曳山十三町大神神籬奉斎式を斎行。
10月1日に御乗せする曳山十三町の大神様の御分霊を依代におうつしする行事

御舟代（神輿の代替）
大・小2基（北廻り及び南廻り）にて渡幸

ご案内

10月1日は、各家々の繁栄・弥栄を御祈念すべく神輿渡幸祭が斎行されます。本年は感染症対策として、大人数を要する神輿の代替として、少人数で巡行することができる御舟代により新湊・放生津地区を渡幸します。

「御駐輦」の張り紙に掲示されている御家にて御駐輦・神職が御祈禱いたします。（張り紙は各町自治会長が配布しておりますが、要すれば当宮社務所に取りに来てください。）